

※事務事業コード／ 0104010105

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	○ 無 ● 有(平成 25 年度～平成 29 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 040101保健衛生総務費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	05浄化槽設置整備事業						
目的 (成果)	水質保全及び生活環境の向上を図るため、家庭雑排水の適正処理と周辺の水質浄化を行う。						
内容 (概要)	公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の地域に対し、浄化槽の設置等に係る助成を行う。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算			
事業内容	5人槽 16基、7人槽 33基、10人槽 3基		5人槽 24基、7人槽 21基、10人槽 5基		5人槽 22基、7人槽 34基、10人槽 4基			
財源内訳	国庫支出金	8,290,000	国庫支出金	12,588,000	国庫支出金	9,532,000		
	県支出金	22,796,000	県支出金	20,500,000	県支出金	25,300,000		
	市債		市債		市債			
	その他	2,670,000	その他	2,592,000	その他	6,138,000		
	一般財源	5,669,000	一般財源	697,000	一般財源	3,443,000		
	計	39,425,000	計	36,377,000	計	44,413,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	19	負担金、補助及び交付金	39,425,000	19	負担金、補助及び交付金	36,377,000		
		決算額計	39,425,000	決算額計	36,377,000	予算現額計	44,413,000	0
(参考)	H24当初予算額	44,413,000	H25当初予算額	44,413,000	伸び率(%) 対・決	22.1	対・予	0
人件費	職員人件費 0.60 人工	4,841,000	職員人件費 0.70 人工	5,641,000	職員人件費 0.50 人工		3,856,000	
総事業費	歳出+職員人件費	44,266,000	歳出+職員人件費	42,018,000	歳出+職員人件費		48,269,000	

【特記事項】

- 平成25実績
  - 5人槽 24基
  - 7人槽 21基
  - 10人槽 5基
  - 計 50基
  - 千代田地区 17件
  - 霞ヶ浦地区 33件
- 基本補助割合(国1/2、県1/3、市 1/6)
  - 基本額 (N型)
    - 5人槽 444,000円
    - 7人槽 486,000円
    - 10人槽 576,000円
- 県森林湖沼環境税より上乗せ(県)
  - 5人槽 220,000円
  - 7人槽 216,000円
  - 10人槽 176,000円
  - 単独浄化槽撤去  
上限 90,000円

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	補助設置基数	基	浄化槽設置基数	目標	60	60	60
				実績	52	50	
成果指標	汚水処理人口普及率	%	行政人口における合併処理浄化槽処理人口普及率	目標	9.3%	9.6%	10.3%
				実績	9.4%	10.0%	

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

下水道等処理区域外では、浄化槽以外に水洗化の方法がないので、住民のニーズが高い。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

計画基数、予算額及び汚水人口処理普及率について、概ね目標を達成できた。

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

市町村設置型の検討をしたが、職員専門的知識や事業に要する人員・費用及び個人より徴収する費用、収納率等の問題がある

■課題と対応方策

課題	水質浄化のために更なる浄化槽設置の促進が必要。(下水道・農集排計画外及び整備予定が7年以内に無い地区) 設置後の管理精度(設置者)の向上に関する指導対策
次年度における対応方策(改善方策)	予算の確保に努める。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	補助金助成制度を継続させる。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	適正な予算の確保に努める。

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	引き続き浄化槽設置整備の促進と予算確保に努めること。



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	年間の点検巡回数	回	施設の見回り回数	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
  - 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
  - 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】
- A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
 モデル的に行われた水質浄化施設であるため特定の2地区に設置されている。霞ヶ浦の水質浄化のための施設の維持管理を図る。

目標達成状況の点検

- 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
  - 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
  - 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
- 【目標達成状況 Total判定】
- A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
  - 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
  - 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
  - コストを下げる工夫が考えられる
  - 成果を高める工夫が考えられる
- 【実施内容等 Total判定】
- A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認

※事務事業コード／ 0106010203

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 060102農業総務費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	03農業集落排水事業特別会計繰出事業						
目的 (成果)	農業集落排水事業特別会計への繰出金						
内容 (概要)	農業集落排水事業特別会計への繰出金						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算		
事業内容	農業集落排水事業特別会計への繰出金		農業集落排水事業特別会計への繰出金		農業集落排水事業特別会計への繰出金		
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金		
	県支出金		県支出金		県支出金		
	市債		市債		市債		
	その他		その他		その他		
	一般財源	217,403,000	一般財源	233,345,000	一般財源	270,596,000	
計	217,403,000	計	233,345,000	計	270,596,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	28	繰出金	217,403,000	28	繰出金	233,345,000	270,596,000
	決算額計	217,403,000	決算額計	233,345,000	予算現額計	270,596,000	0
(参考)	H24当初予算額	224,960,000	H25当初予算額	243,489,000	伸び率(%) 対・決	16.0	対・予 11.1 +
人件費	職員人件費 0.20 人工	1,613,000	職員人件費 0.20 人工	1,611,000	職員人件費 0.05 人工	385,000	
総事業費	歳出+職員人件費	219,016,000	歳出+職員人件費	234,956,000	歳出+職員人件費	270,981,000	

【特記事項】

H25決算  
 ○基準内 182,588,000円  
 ○基準外 50,757,000円

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標				目標実績			
				目標実績			
成果指標				目標実績			
				目標実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

- A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

- 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

- A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえて、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

- A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input checked="" type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認



■指標

種類	指標名	単位	説明	実績		
				平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標				目標実績		
				目標実績		
成果指標				目標実績		
				目標実績		

■事務事業の点検

必要性の点検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

- A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

- 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

- A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえ、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

- A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	
次年度における対応方策(改善方策)	
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認

※事務事業コード／ 0401010102

平成 26 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 010101下水道総務費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	02下水道総務事業						
目的 (成果)	下水道事業の効率的な事業の執行を図る						
内容 (概要)	下水道事業の管理運営						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	下水道事業の管理運営			下水道事業の管理運営			下水道事業の管理運営			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他	40,200		その他	128,200		その他	61,000		
	一般財源	15,012,140		一般財源	13,107,960		一般財源	23,836,000		
計	15,052,340		計	13,236,160		計	23,897,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	08	報償費	83,700	08	報償費	89,100	09	旅費	33,000	
	09	旅費	9,120	09	旅費	5,020	12	役務費	25,000	
	12	役務費	20,900	12	役務費	21,800	13	委託料	6,100,000	
	19	負担金、補助及び交付金	214,110	19	負担金、補助及び交付金	169,540	19	負担金、補助及び交付金	737,000	
	23	償還金利子及び割引料	11,710	23	償還金利子及び割引料	0	23	償還金利子及び割引料	1,000	
	27	公課費	14,712,800	27	公課費	12,950,700	27	公課費	17,000,000	
	28	繰出金	0	28	繰出金	0	28	繰出金	1,000	
	決算額計	15,052,340		決算額計	13,236,160		予算現額計	23,897,000	0	
(参考)	H24当初予算額	17,138,000		H25当初予算額	13,612,000		伸び率(%) 対・決	80.5	対・予	75.6 +
人件費	職員人件費 0.50 人工	4,034,000		職員人件費 0.40 人工	3,223,000		職員人件費 0.45 人工		3,470,000	
総事業費	歳出+職員人件費	19,086,340		歳出+職員人件費	16,459,160		歳出+職員人件費		27,367,000	

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	出席回数	回	各種関係協議会等主催の会議・研修会等への参加	目標	10	10	12
				実績	12	12	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

消費税納付

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	下水道事業の運営にあたり、関係団体等へ参加し、事業に対する知識・能力の向上を図る。
次年度における対応方策(改善方策)	
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

**一次評価【課長評価】**

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止    年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)	下水道事業の運営・管理に関する研修会に積極参加する。		

**二次評価【部長評価】**

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	一次評価の通りである。		

※事務事業コード／ 0401010202

平成 26 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 010102下水道維持費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	02下水道維持事業						
目的 (成果)	公共下水道事業で整備した施設の適正な維持管理を行い、効率的な下水道の処理を図る。						
内容 (概要)	稲吉、下原、角来、千代田穴倉、穴倉、各処理分区内の下水道施設の維持管理を行う。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算					
事業内容	下水道施設維持管理			下水道施設維持管理			下水道施設維持管理					
財源内訳	国庫支出金	8,130,000		国庫支出金			国庫支出金					
	県支出金			県支出金			県支出金					
	市債			市債			市債					
	その他			その他			その他					
	一般財源	240,668,778		一般財源	179,576,068		一般財源	237,098,000				
計	248,798,778		計	179,576,068		計	237,098,000					
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分		
	11	需用費	11,889,197	11	需用費	14,472,486	11	需用費	28,010,000			
	12	役務費	1,870,602	12	役務費	2,027,391	12	役務費	2,479,000			
	13	委託料	46,170,715	13	委託料	32,213,006	13	委託料	32,825,000			
	14	使用料及び賃借料	295,476	14	使用料及び賃借料	299,472	14	使用料及び賃借料	296,000			
	15	工事請負費	8,542,144	15	工事請負費	6,016,573	15	工事請負費	8,100,000			
	16	原材料費	49,644	16	原材料費	49,140	16	原材料費	200,000			
	19	負担金、補助及び交付金	179,981,000	19	負担金、補助及び交付金	124,498,000	19	負担金、補助及び交付金	165,188,000			
	決算額計	248,798,778		決算額計	179,576,068		予算現額計	237,098,000		0		
(参考)	H24当初予算額	255,239,000		H25当初予算額	269,765,000		伸び率(%) 対・決	32.0		対・予	-12.1	-
人件費	職員人件費	1.20 人工	9,682,000	職員人件費	1.30 人工	10,477,000	職員人件費	1.25 人工		9,640,000		
総事業費	歳出+職員人件費	258,480,778		歳出+職員人件費	190,053,068		歳出+職員人件費			246,738,000		

【特記事項】

- ・公共樹設置工事設計委託
- ・公共樹設置工事

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	点検回数	回	中継ポンプ点検回数	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標	修理回数	回	中継ポンプ修理回数	目標	3	3	3
				実績	2	2	
成果指標	故障時間	時間	ポンプ2台同時故障時間	目標	0	0	0
				実績	0	0	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
霞ヶ浦の水質浄化、衛生的で快適な生活環境を維持するため必要である。	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
維持管理委託について複数年契約を実施し、コストの縮減を図っている	

■課題と対応方策

課題	施設等の老朽化が進んでおり、維持管理費が増大の傾向にある。
次年度における対応方策(改善方策)	接続率向上のため未加入者への戸訪問を実施し、加入促進を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	維持管理費のコスト削減に努めるため、交付金事業を積極的に活用し、施設の現状把握するとともに、施設の長寿命化計画を策定し、効率的かつ効果的に改築更新する。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。

<b>二次評価【部長評価】</b>	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	加入率を高めるとともに、コスト削減に努めること。

※事務事業コード／ 0401010302

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 010103特定環境保全公共下水道維持費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	02特定環境保全公共下水道維持事業						
目的 (成果)	霞ヶ浦の水質浄化と快適な住環境を確保するため処理施設等の適正な維持管理を行い、水質保全及び生活環境の向上を図る。						
内容 (概要)	志戸崎・田伏処理分区及び加茂・牛渡地区の施設と田伏浄化センターの維持管理を行う。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	田伏浄化センター維持管理、管路清掃、中継ポンプ清掃			田伏浄化センター維持管理、管路清掃、中継ポンプ清掃			田伏浄化センター維持管理、管路清掃、中継ポンプ清掃			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金	6,875,000	国庫支出金				
	県支出金			県支出金		県支出金				
	市債			市債		市債				
	その他			その他		その他	2,880,000			
	一般財源	58,580,477		一般財源	65,355,616	一般財源	82,924,000			
計	58,580,477		計	72,230,616	計	85,804,000				
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	11	需用費	21,597,268	11	需用費	30,778,019	11	需用費	46,931,000	
	12	役務費	2,562,601	12	役務費	2,730,095	12	役務費	3,208,000	
	13	委託料	20,429,159	13	委託料	26,468,781	13	委託料	20,770,000	
	14	使用料及び賃借料	116,999	14	使用料及び賃借料	128,981	14	使用料及び賃借料	117,000	
	15	工事請負費	3,154,450	15	工事請負費	855,750	15	工事請負費	2,592,000	
	16	原材料費	0	16	原材料費	64,990	16	原材料費	200,000	
	19	負担金、補助及び交付金	10,720,000	19	負担金、補助及び交付金	11,204,000	19	負担金、補助及び交付金	11,986,000	
	決算額計	58,580,477		決算額計	72,230,616		予算現額計	85,804,000	0	
(参考)	H24当初予算額	47,213,000		H25当初予算額	82,400,000		伸び率(%) 対・決	18.8	対・予	4.1 +
人件費	職員人件費 1.20 人工	9,682,000		職員人件費 1.30 人工	10,477,000		職員人件費 1.20 人工		9,255,000	
総事業費	歳出+職員人件費	68,262,477		歳出+職員人件費	82,707,616		歳出+職員人件費		95,059,000	

【特記事項】

- ・公共樹設置工事設計委託
- ・公共樹設置工事

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	点検回数	回	中継ポンプ点検回数	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標	修理回数	回	中継ポンプ修理回数	目標	2	2	2
				実績	7	4	
成果指標	故障時間	時間	ポンプ2台同時故障時間	目標	0	0	0
				実績	0	0	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

霞ヶ浦の水質浄化と快適な生活環境を維持するため重要である。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

維持管理委託について複数年契約を実施し、コストの縮減を計っている

■課題と対応方針

課題	施設等の老朽化が進んでおり、維持管理費が増大の傾向にある。
次年度における対応方針(改善方針)	接続率向上を図るために未加入者への戸別訪問等を実施し、加入促進を図る。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	維持管理費のコスト削減に努めるため、交付金事業を積極的に活用し、施設の現状把握するとともに、施設の長寿命化計画を策定し、効率的かつ効果的に改築更新する。また、単独公共下水道施設は、流域関連公共下水道施設へ統合するための検討を予定する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止    年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	加入率を高めるとともに、コスト削減に努めること。

※事務事業コード／ 0401010402

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 010104水洗化普及費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	02水洗化普及事業						
目的 (成果)	水洗化への早期促進を図る。						
内容 (概要)	下水道接続支援費補助金や水洗便所改造貸付資金の利子補給をすることで、水洗化への促進を図る。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算			
事業内容	下水道接続支援費事業補助金、水洗便所改造資金利子補給金		下水道接続支援費事業補助金、水洗便所改造資金利子補給金		下水道接続支援費事業補助金、水洗便所改造資金利子補給金			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金	140,000	県支出金	150,000	県支出金	380,000		
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	283,146	一般財源	280,529	一般財源	585,000		
	計	423,146	計	430,529	計	965,000		
歳出内訳	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	うち臨時分	
	11 需用費	87,500	11 需用費	69,918	11 需用費	166,000		
	19 負担金、補助及び交付金	335,646	19 負担金、補助及び交付金	360,611	19 負担金、補助及び交付金	799,000		
		決算額計	423,146	決算額計	430,529	予算現額計	965,000	0
(参考)	H24当初予算額	1,128,000	H25当初予算額	1,139,000	伸び率(%) 対・決	124.1	対・予	-15.3
人件費	職員人件費 0.70 人工	5,648,000	職員人件費 0.70 人工	5,641,000	職員人件費 0.55 人工		4,241,000	
総事業費	歳出+職員人件費	6,071,146	歳出+職員人件費	6,071,529	歳出+職員人件費		5,206,000	

**【特記事項】**  
 ○かすみがうら市水洗便所改造資金助成規則(接続助成)  
 供用開始公示の日から  
 ・1年以内に水洗化・・・50,000円  
 ・2年以内に水洗化・・・40,000円  
 ・3年以内に水洗化・・・20,000円  
 (利子補給)  
 ・接続助成の対象者で斡旋を受けた融資の利子全額  
 ・接続助成の対象外は利子の2分の1を交付することができる

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	補助金交付戸数	戸	補助対象: 供用開始3年以内接続	目標	20	20	20
				実績	7	8	
成果指標	戸別訪問	戸	未接続世帯個別推進	目標	100	100	300
				実績	148	346	
成果指標	下水道接続戸数	戸	新規接続	目標	200	200	200
				実績	144	136	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)    B:普通    C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

早期接続のためにも支援制度は、有効である。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた    B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

あゆみ祭等のイベントにおける新規出展、県職員同行による戸別訪問を実施し、下水道に対する普及啓発に取り組んだ。

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施    B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

補助制度の該当者が少ない。

■課題と対応方策

課題	整備区域の未接続世帯の加入促進。
次年度における対応方策(改善方策)	接続率の低い区域の戸別加入推進及び市主催イベント時の周知広報活動の実施。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	接続率を県平均まで向上させる。

■今後の方向性

**一次評価【課長評価】**

評価者: 鈴木芳明   担当課名: 下水道課

事業の方向性:  このまま継続    改善して継続    休廃止   年後を目処)    終了

事業費の方向性:  増額    現状維持    減額

次年度の取組方針(改善方針): 接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。

**二次評価【部長評価】**

部長名: 渡辺泰二   担当部名: 土木部

確認:  確認

効果の出る加入促進をするよう努力をすること。

※事務事業コード／ 0401020102

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 010201公共下水道整備事業費	新規/継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	02公共下水道整備事業						
目的 (成果)	公共下水道区域内の施設整備を行うことにより、霞ヶ浦の水質保全及び生活環境の向上を図る。						
内容 (概要)	認可区域内の汚水管渠及び公共樹の整備を行う。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	管渠布設、公共樹設置工事			管渠布設、公共樹設置工事			管渠布設、公共樹設置工事			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他	7,585,730		その他	8,095,000		その他	4,250,000		
	一般財源	107,580,185		一般財源	431		一般財源	8,761,000		
計	115,165,915		計	8,095,431		計	13,011,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	11	需用費	276,250	11	需用費	162,681	11	需用費	313,000	
	12	役務費	24,315	12	役務費	0	12	役務費	11,000	
	13	委託料	2,494,800	13	委託料	887,250	13	委託料	4,428,000	
	15	工事請負費	112,362,950	15	工事請負費	7,045,500	15	工事請負費	7,130,000	
	22	補償補填及び賠償金	0	22	補償補填及び賠償金	0	18	備品購入費	1,029,000	
	27	公課費	7,600				22	補償補填及び賠償金	100,000	
		決算額計	115,165,915		決算額計	8,095,431		予算現額計	13,011,000	0
(参考)	H24当初予算額	82,199,000		H25当初予算額	11,799,000		伸び率(%) 対・決	60.7	対・予	10.3 +
人件費	職員人件費 1.30 人工	10,489,000		職員人件費 0.90 人工	7,253,000		職員人件費 0.70 人工		5,398,000	
総事業費	歳出+職員人件費	125,654,915		歳出+職員人件費	15,348,431		歳出+職員人件費		18,409,000	

【特記事項】

【25事業概要】

(下稻吉地内)  
 VUφ 200 L=35.0m  
 マンホール工 1号 2箇所  
 公共樹設置 2箇所

(稲吉南地内)  
 VUφ 200 L=82.0m  
 マンホール工 1号 2箇所  
 公共樹設置 1箇所

(中佐谷地内)  
 VUφ 150 L=32.5m  
 HIVPφ 75 L=32.5m  
 マンホール工 0号 1箇所  
 小型塩ビマンホール 1箇所  
 公共樹設置 1箇所

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	管渠布設	m	管渠布設工事延長	目標	50	116	20
				実績	97.4	117.0	
成果指標	公共樹設置	箇所	公共樹設置数	目標	15	25	1
				実績	35	4	
成果指標	整備率	%	累加整備面積／事業認可面積	目標	79.2%	79.2%	79.2%
				実績	79.2%	79.2%	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

霞ヶ浦の水質浄化と生活環境を向上させるため事業を実施する。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

整備区域内の加入促進と事業計画の見直しが必要である。

■課題と対応方策

課題	未整備区域の整備のための検証。
次年度における対応方策(改善方策)	施設整備と接続率向上のための方策検討。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	下水道認可区域の見直しの検討。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	下水道施設整備の条件整備の検討。

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	一次評価の通りである。



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	管渠布設	m	管渠布設工事延長	目標	1,060	30	0
				実績	1,038	22	
成果指標	公共樹設置	箇所	公共樹設置数	目標	10	1	
				実績	11	1	
成果指標	整備率	%	累加整備面積／事業認可面積	目標	89.5%	90.3%	90.3%
				実績	90.3%	90.3%	

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

霞ヶ浦の水質浄化と生活環境を向上させるため事業を実施する。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

整備区域内の加入促進と事業計画の見直しが必要である。

■課題と対応方策

課題	未整備区域の整備のための検証。
次年度における対応方策(改善方策)	施設整備と接続率向上のための方策検討。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	下水道認可区域の見直しの検討。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	下水道施設整備の条件整備の検討。

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	一次評価のとおりである。



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	霞ヶ浦湖北流域下水道建設負担金	円	茨城県における霞ヶ浦湖北流域下水道計画に基づく負担金	目標	52,892,000	28,871,000	19,969,000
				実績	47,627,000	27,373,000	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

- 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止    (年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

二次評価【部長評価】

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		

※事務事業コード／ 0402010101

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 020101元金	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	01下水道事業起債元金償還事業						
目的 (成果)	起債元金償還						
内容 (概要)	起債元金償還						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	H20年度までの起債で据置期間を経過した元金償還 「公共下水道資本平準化債・公共下水道事業債(特別措置分)・特定環境保全公共下水道資本平準化債を充当」			H21年度までの起債で据置期間を経過した元金償還 「公共下水道資本平準化債・公共下水道事業債(特別措置分)・特定環境保全公共下水道資本平準化債を充当」			H22年度までの起債で据置期間を経過した元金償還 「公共下水道資本平準化債・公共下水道事業債(特別措置分)・特定環境保全公共下水道資本平準化債を充当」			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債	149,900,000		市債	137,300,000		市債	137,300,000		
	その他			その他			その他			
	一般財源	276,971,713		一般財源	429,150,251		一般財源	314,819,000		
計	426,871,713		計	566,450,251		計	452,119,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	23	償還金利子及び割引料	426,871,713	23	償還金利子及び割引料	566,450,251	23	償還金利子及び割引料	452,119,000	
		決算額計	426,871,713		決算額計	566,450,251		予算現額計	452,119,000	0
(参考)	H24当初予算額	426,872,000		H25当初予算額	441,376,000		伸び率(%) 対・決	-20.2	対・予	2.4 +
人件費	職員人件費 0.20 人工	1,613,000		職員人件費 0.20 人工	1,611,000		職員人件費 0.25 人工		1,928,000	
総事業費	歳出+職員人件費	428,484,713		歳出+職員人件費	568,061,251		歳出+職員人件費		454,047,000	

【特記事項】  
・下水道施設整備に要した資金の借入元金

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	起債償還額	円	返済計画に基づく償還	目標	426,872,000	441,376,000	452,119,000
				実績	426,871,713	566,450,251	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

---

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

---

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

**一次評価【課長評価】**

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input checked="" type="radio"/> 休廃止    (年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

**二次評価【部長評価】**

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	確認	

※事務事業コード／ 0402010201

平成 26 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	下水道事業特別会計	款・項・目 020102利子	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	01下水道事業起債利子償還事業						
目的 (成果)	起債利子償還						
内容 (概要)	一般財源						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算			
事業内容	H23年度までに借り入れた起債利子償還		H24年度までに借り入れた起債利子償還		H25年度までに借り入れた起債利子償還			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	176,543,625	一般財源	167,033,118	一般財源	157,127,000		
計	176,543,625	計	167,033,118	計	157,127,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	23	償還金利子及び割引料	176,543,625	23	償還金利子及び割引料	167,033,118	157,127,000	
	決算額計	176,543,625	決算額計	167,033,118	予算現額計	157,127,000	0	
(参考)	H24当初予算額	178,108,000	H25当初予算額	170,880,000	伸び率(%) 対・決	-5.9	対・予	-8
人件費	職員人件費 0.20 人工	1,613,000	職員人件費 0.20 人工	1,611,000	職員人件費 0.15 人工		1,156,000	
総事業費	歳出+職員人件費	178,156,625	歳出+職員人件費	168,644,118	歳出+職員人件費		158,283,000	

【特記事項】  
・下水道施設整備に要した資金の借入元金利子

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	起債利子償還額	円	返済計画に基づく利子償還	目標	178,108,000	170,880,000	157,127,000
				実績	176,543,625	167,033,118	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

---

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

---

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

**一次評価【課長評価】**

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input checked="" type="radio"/> 休廃止    (年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

**二次評価【部長評価】**

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	確認	



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標				目標実績			
				目標実績			
成果指標				目標実績			
				目標実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

二次評価【部長評価】

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	確認	

※事務事業コード／ 0501010102

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	農業集落排水事業特別会計 款・項・目 010101施設管理費		新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	02農業集落排水維持管理事業						
目的 (成果)	霞ヶ浦の水質浄化と農村環境を保全するため処理施設等の適正な維持管理を行い、農村地域の生活環境の向上を図る。						
内容 (概要)	霞ヶ浦の水質浄化と農村環境を保全するため処理施設等の適正な維持管理を行い、農村地域の生活環境の向上を図る。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	処理場内修繕、中継ポンプ修繕、マンホール補修・調整、処理場管理業務委託			処理場内修繕、中継ポンプ修繕、マンホール補修・調整、処理場管理業務委託			処理場内修繕、中継ポンプ修繕、マンホール補修・調整、処理場管理業務委託			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他	224		その他	224		その他			
	一般財源	116,175,363		一般財源	127,817,133		一般財源	158,120,000		
計	116,175,587		計	127,817,357		計	158,120,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	11	需用費	59,121,694	11	需用費	73,057,788	11	需用費	99,933,000	
	12	役務費	7,056,130	12	役務費	6,966,267	12	役務費	6,413,000	
	13	委託料	43,243,459	13	委託料	40,936,398	13	委託料	46,299,000	
	14	使用料及び賃借料	248,380	14	使用料及び賃借料	248,380	14	使用料及び賃借料	249,000	
	19	負担金、補助及び交付金	59,500	19	負担金、補助及び交付金	58,000	19	負担金、補助及び交付金	58,000	
	23	償還金利子及び割引料	0	23	償還金利子及び割引料	0	23	償還金利子及び割引料	1,000	
	25	積立金	224	25	積立金	224	25	積立金	1,000	
	27	公課費	6,446,200	27	公課費	6,550,300	27	公課費	5,165,000	
	28	繰出金	0	28	繰出金	0	28	繰出金	1,000	
	決算額計	116,175,587		決算額計	127,817,357		予算現額計	158,120,000	0	
(参考)	H24当初予算額	117,454,000		H25当初予算額	133,631,000		伸び率(%) 対・決	23.7	対・予	18.3 +
人件費	職員人件費 1.40 人工	11,296,000		職員人件費 1.50 人工	12,089,000		職員人件費 1.30 人工		10,026,000	
総事業費	歳出+職員人件費	127,471,587		歳出+職員人件費	139,906,357		歳出+職員人件費		168,146,000	

【特記事項】

8処理地区の維持管理  
(千代田地区)5地区  
土田、志筑、上稲吉、新治、千代田東部  
(霞ヶ浦地区)3地区  
柏崎、大和田、深谷

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	点検回数	回	中継ポンプ施設の点検回数	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標	中継ポンプ故障時間	時間	ポンプ2台同時故障時間/年間	目標	0	0	0
				実績	0	0	

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

霞ヶ浦の水質浄化、快適な生活環境を維持するため必要である。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

維持管理委託について複数年契約を実施し、コストの削減を計った。

■課題と対応方策

課題	施設等の老朽化が進んでおり、維持管理費が増大の傾向にある。
次年度における対応方策(改善方策)	接続率向上のため、未加入者への戸訪問を実施し、加入促進を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	施設改築更新等に係る調査検討を行い、公共下水道への統合及び農集排施設同士の統合等を検討する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止    年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	接続率向上を図るため、啓蒙活動及び加入促進に努める。

二次評価【部長評価】	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	加入率を高めるとともに、コスト削減に努めること。

※事務事業コード／ 0501010103

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	農業集落排水事業特別会計 款・項・目 010101施設管理費		新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	03水洗化普及事業						
目的 (成果)	水洗化への早期促進を図る。						
内容 (概要)	水洗便所改造貸付資金の利子補給をすることで、水洗化への促進を図る。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算				
事業内容	水洗便所改造資金利子補給金			水洗便所改造資金利子補給金			水洗便所改造資金利子補給金				
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金				
	県支出金			県支出金			県支出金				
	市債			市債			市債				
	その他			その他			その他				
	一般財源	0		一般財源	0		一般財源	20,000			
計	0		計	0		計	20,000				
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	19	負担金、補助及び交付金	0	19	負担金、補助及び交付金	0	19	負担金、補助及び交付金	20,000		
		決算額計	0		決算額計	0		予算現額計	20,000	0	
(参考)	H24当初予算額	20,000		H25当初予算額	20,000		伸び率(%) 対・決 皆増	対・予	0		
人件費	職員人件費 0.60 人工	4,841,000		職員人件費 0.60 人工	4,835,000		職員人件費 0.60 人工		4,627,000		
総事業費	歳出+職員人件費	4,841,000		歳出+職員人件費	4,835,000		歳出+職員人件費		4,647,000		

【特記事項】  
 ○かすみがうら市水洗便所改造資金助成規則(利子補給)  
 ・農業集落排水事業は全地区終了後3年以上経過しているため、接続助成の対象外のため利子の2分の1を交付対象となる。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	貸付戸数	戸	改造資金貸付戸数	目標	2	2	2
				実績	0	0	
成果指標	戸別訪問	戸	未接続世帯個別推進	目標	100	100	180
				実績	18	177	
成果指標	接続戸数	戸	新規接続	目標	50	50	50
				実績	28	25	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
接続率向上のためにも支援策は必要である	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
改造資金の新規貸付はなかったものの、あゆみ祭等のイベントにおける新規出展を実施し、下水道とあわせて農集排に対する普及啓発に取り組んだ。	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
加入促進を図るための新たな方策の検討。	

■課題と対応方策

課題	整備区域の未接続世帯の加入促進。
次年度における対応方策(改善方策)	接続率の低い区域の戸別加入推進及び市主催イベント時の周知広報活動の実施。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	接続率を県平均まで向上させる。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	鈴木芳明 担当課名 下水道課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	接続率向上を図るため啓蒙活動及び加入促進に努める。

<b>二次評価【部長評価】</b>	
部長名	渡辺泰二 担当部名 土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	効果の出る加入促進をするよう努力をすること。

※事務事業コード／ 0502010101

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	農業集落排水事業特別会計 款・項・目 020101元金		新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	01農業集落排水事業起債元金償還事業						
目的 (成果)	起債元金償還						
内容 (概要)	起債元金償還						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算			
事業内容	H20年度までの起債で据置期間を経過した元金償還 農業集落排水事業資本平準化債を充当		H21年度までの起債で据置期間を経過した元金償還 農業集落排水事業資本平準化債を充当		H22年度までの起債で据置期間を経過した元金償還 農業集落排水事業資本平準化債を充当			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債	70,000,000	市債	69,900,000	市債	69,900,000		
	その他		その他		その他			
	一般財源	104,292,744	一般財源	194,575,865	一般財源	122,116,000		
計	174,292,744	計	264,475,865	計	192,016,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	23	償還金利子及び割引料	174,292,744	23	償還金利子及び割引料	264,475,865	192,016,000	
		決算額計	174,292,744	決算額計	264,475,865	予算現額計	192,016,000	0
(参考)	H24当初予算額	174,293,000	H25当初予算額	182,328,000	伸び率(%) 対・決	-27.4	対・予	5.3 +
人件費	職員人件費 0.20 人工	1,613,000	職員人件費 0.20 人工	1,611,000	職員人件費 0.25 人工		1,928,000	
総事業費	歳出+職員人件費	175,905,744	歳出+職員人件費	266,086,865	歳出+職員人件費		193,944,000	

【特記事項】  
・農業集落排水施設整備に要した資金の借入元金

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	起債償還額	円	返済計画に基づく償還	目標	174,293,000	182,328,000	192,016,000
				実績	174,292,744	264,475,865	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

---

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

---

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input checked="" type="radio"/> 休廃止    (年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

二次評価【部長評価】

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	確認	

※事務事業コード／ 0502010201

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	● 無 ○ 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	農業集落排水事業特別会計 款・項・目 020102利子		新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 1321
事業名	01農業集落排水事業起債利子償還事業						
目的 (成果)	起債利子償還						
内容 (概要)	起債利子償還						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算			
事業内容	H23年度までに借り入れた起債利子償還		H24年度までに借り入れた起債利子償還		H25年度までに借り入れた起債利子償還			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	74,631,986	一般財源	69,396,754	一般財源	64,430,000		
計	74,631,986	計	69,396,754	計	64,430,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	23	償還金利子及び割引料	74,631,986	23	償還金利子及び割引料	69,396,754	64,430,000	
	決算額計	74,631,986	決算額計	69,396,754	予算現額計	64,430,000	0	
(参考)	H24当初予算額	75,091,000	H25当初予算額	71,181,000	伸び率(%) 対・決	-7.2	対・予	-9.5
人件費	職員人件費 0.20 人工	1,613,000	職員人件費 0.20 人工	1,611,000	職員人件費 0.15 人工		1,156,000	
総事業費	歳出+職員人件費	76,244,986	歳出+職員人件費	71,007,754	歳出+職員人件費		65,586,000	

【特記事項】  
・農業集落排水施設整備に要した資金の借入元金利子

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	起債利子償還額	円	返済計画に基づく利子償還	目標	75,091,000	71,181,000	64,430,000
				実績	74,631,986	69,396,754	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

---

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

---

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地が十分に実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

**一次評価【課長評価】**

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input checked="" type="radio"/> 休廃止    年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

**二次評価【部長評価】**

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	確認	

※事務事業コード／ 0503010101

平成 26 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 土木部	課 下水道課	事業年度期限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有(平成 年度～平成 年度)			
会計	農業集落排水事業特別会計 款・項・目 030101 予備費		新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 9999
事業名	01 予備費事業						
目的 (成果)	予備費充用						
内容 (概要)	予備費充用						

■事業費 (単位:円)

事業内容	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			【特記事項】									
	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	計	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分									
							29	予備費	3,000,000										
(参考)	H24当初予算額	3,000,000	H25当初予算額	3,000,000	伸び率(%)	対・決	皆増	対・予	0										
人件費	職員人件費	人工	0	職員人件費	人工	0	職員人件費	人工	0										
総事業費	歳出+職員人件費	0	歳出+職員人件費	0	歳出+職員人件費	0	歳出+職員人件費	3,000,000											

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標				目標実績			
				目標実績			
成果指標				目標実績			
				目標実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

---

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

---

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえてサービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

■課題と対応方策

課題	
次年度における対応方策(改善方策)	
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者	鈴木芳明	担当課名	下水道課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止    年後を目処) <input type="radio"/> 終了		
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額		
次年度の取組方針(改善方針)			

二次評価【部長評価】

部長名	渡辺泰二	担当部名	土木部
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	確認	